



明石市役所

〒673-8686
兵庫県明石市中崎1丁目5番1号
TEL912-1111

市政へのご意見・ご要望は…



[市民相談室] TEL918-5050 FAX918-5102
受付時間/8:55~17:40
(土曜、日曜、休日と年末年始を除く)

休日・夜間の救急医療は…



[消防局] TEL921-0119 FAX927-0119
[夜間休日応急診療所] TEL937-8499
[あかしユニバーサル歯科診療所(休日)]
TEL918-5664

源氏物語

紫式部によって書かれた、日本最古の恋愛長編小説といわれています。
明石は月の名所で「ゆほびかで、明るく美しい土地」として紹介されています。

「源氏物語」は54巻からなり、明石が舞台の「明石の巻」は第13巻目

明石の君への手紙

波のよるよるいかに、
嘆きつつ明石の浦に朝霧の立つやと人を思ひやるかな

訳
波が寄せては返す夜どうお過ごしでしょうか。嘆きつつ明
かし暮らすあなたの吐息が明石の浦に朝霧となって立って
しまわないかと、遠く想像しています。



伊東琇稀氏画

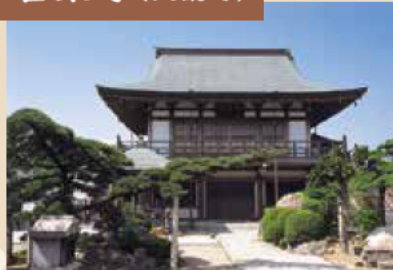
明石～あらすじ～

都を逃れ、須磨に身を隠していた光源氏は、明石入道の誘いで明石の地を訪れます。
光源氏は、明石入道の娘「明石の君」に手紙を送ります。2年の歳月が経ち、光源氏
は都に戻るようになりますが、明石の君には新たな命が宿っていました。

源氏物語 ゆかりの地 明石

ゆかりの場所

善楽寺(大観町)



光源氏を須磨から明石へ導いた明石入道の住まい「浜の館」の跡とされています。境内には「明石入道の碑」や「明石の浦の浜の松の碑」が立っています。

無量光寺(大観町)



光源氏が月見をした場所といわれています。山門前に「^{つた}蔦の細道」と呼ばれる小径があり、光源氏が明石の君の住む館に通った道に見立てられています。

つた蔦の細道(大観町)



岩屋神社(材木町)



境内に「光源氏月見の松」があります。

ゆかりの場所マップ

